

競技注意事項（大会申し合わせ事項）

1. 競技規則について

2022-2023 最新の World Para Athletics 競技規則及び World Athletics(WA)競技規則（パラリンピック種目以外）、並びに本大会競技注意事項（大会申し合わせ事項）により実施する。また、参加するすべての競技者に「World Para Athletics 承認競技会における広告規程」（この規程に記されていない広告に関することはWA 規程に準ずる）が適用される。基準を超える商標についてはテープ等で隠すことになるので、その旨了承のこと。

本競技期間中における競技開始前の本競技場での練習においても同様とする。

注）日本パラ陸上競技連盟が主催または後援する国内大会（WPA 承認大会含む）においては、WA、WPA どちらの広告規程でも可とする。

競技規則については、JPA ホームページから確認すること。

<https://jaafd.org/sports/basic-knowledge#rule>

2. 受付について

競技者受付は、競技場 B ゲート前に設置する。

受付ではアスリートビブスに加え、競技者、ガイドランナーにそれぞれ1枚、コーチ・付き添いには競技者1名につき原則2枚のアクセディテーションカード（以下、AD カード）が配付されるので、必ず受付を通ること。AD カードは競技場内では常に装着すること。AD カードの装着がない者は競技場内に入ることができないので注意すること。AD カードを装着した競技者等は、指定されたエリアで行動すること。

3. アクセスコントロール

- ・2024 年開催の世界パラ陸上選手権大会運営のリハーサルのため、今大会において、ゾーン管理及びアクセス管理を実施する。
- ・規制ゾーンへは、アクセスチェックポイントにいるスタッフに AD カードを見せて入ること。見える場所に AD カードの装着をしていない場合、ゾーン内に入れないので注意すること。
- ・例えばドーピングコントロール室への選手の付き添いなど、ゾーン1 以外へのアクセスが必要な場合は、随時、TIC でスペシャルバスの申請を行い、バスが見えるところに装着すること。

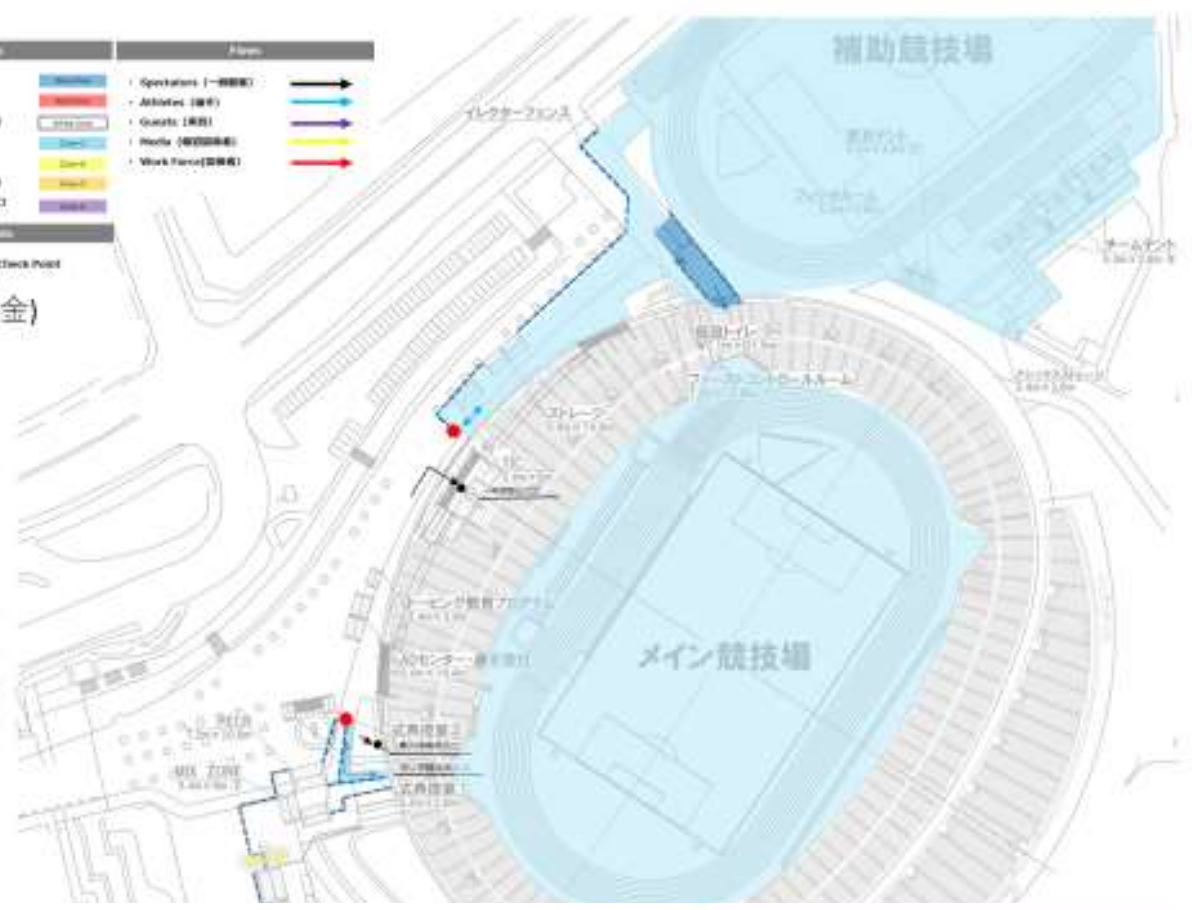
4. アクセス可能エリア

- ・「選手」「ガイドランナー」及び「付添・コーチ」カテゴリーは、ゾーン1（アスリートエリア）へのアクセス権が付与される。他のゾーンへは入れないので注意すること。ゾーン1（アスリートエリア）は、練習場、TIC、ストレージ、選手専用観覧席などが含まれる。
- ・練習日（4月28日）と、競技日（4月29・30日）では、ゾーンの範囲が異なるので注意すること。
（[干記次ページ](#)ゾーニングマップ参照）
- ・4月29日及び30日については、選手専用観覧席を競技場東側サイドに設ける。選手専用観覧席ではゾーン1のアクセス権を所持している者以外の観覧は出来ない。なお、選手専用観覧席内には車いすでの観覧席が無いので、車いすでの観覧エリアは、一般観覧席内となる。

Zone	Area
Field of Play (NFT)	Operators (一般観客)
Operation Area (NDF)	Athletes (選手)
Circulation Area (MDF)	Guests (来賓)
Atmosphere Area (SPT)	Media (報道関係者)
Press Area (NDF)	Work Force (業務員)
Breakfast Area (BBS)	
NPA Family Area (PTC)	

ACP Zone
 ● Accreditation Check Point

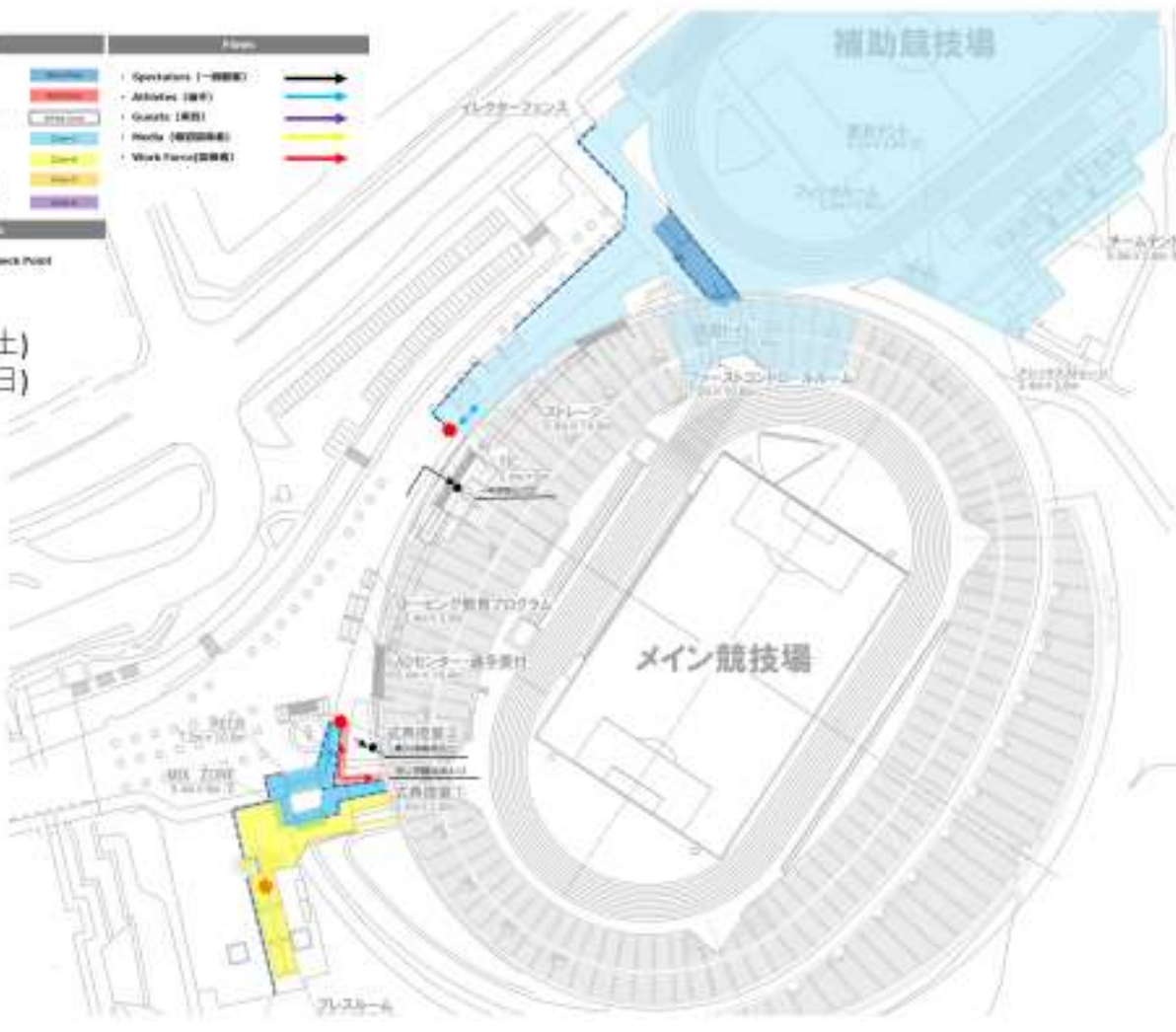
4月28日(金)



Zone	Area
Field of Play (NFT)	Operators (一般観客)
Operation Area (NDF)	Athletes (選手)
Circulation Area (MDF)	Guests (来賓)
Atmosphere Area (SPT)	Media (報道関係者)
Press Area (NDF)	Work Force (業務員)
Breakfast Area (BBS)	
NPA Family Area (PTC)	

ACP Zone
 ● Accreditation Check Point

競技日
 4月29日(土)
 4月30日(日)



5. 練習会場について

○4月28日（金）13:00~16:30、メイン競技場および補助競技場での練習が可能である。

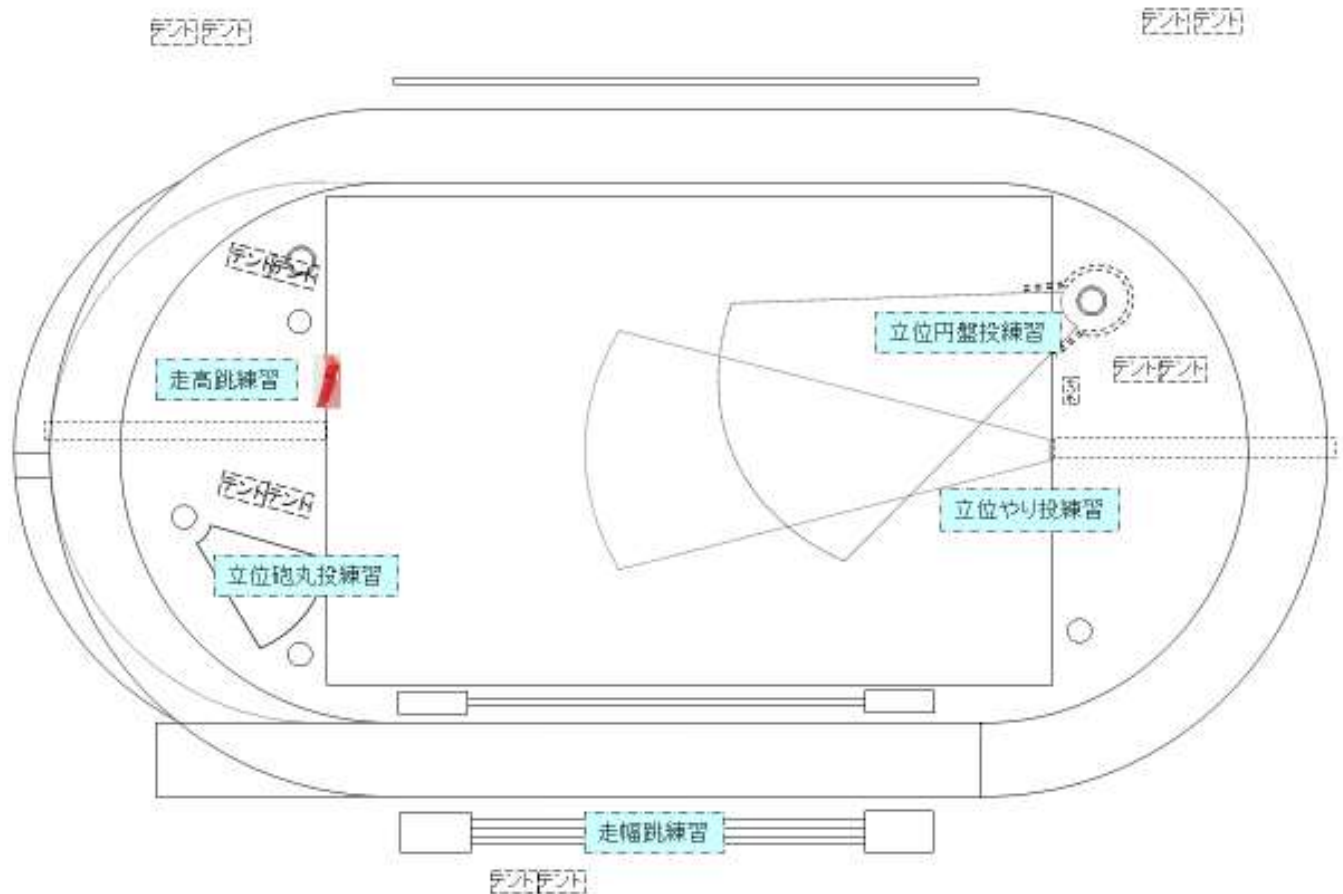
トラック種目 : メイン競技場は車いすのみ、補助競技場は立位のみ練習可能。

補助競技場のトラック内芝生の利用は可能。（スパイク使用は不可）

跳躍種目 : メイン競技場で走幅跳、三段跳、走高跳の練習可能（下図）。

立位投てき : メイン競技場で円盤投、やり投、砲丸投の練習可能（下図）。

座位投てきは、メイン競技場、補助競技場ともに練習不可。



○4月29日（土）7:30~から競技終了60分後まで補助競技場での練習が可能である。

トラック種目 : 内側1~3レーンは車いす、外側4~6レーンは立位用とする。

トラック内芝生の利用は可能。（スパイク使用は不可）

跳躍種目 : 走高跳の練習可能。

走幅跳の練習可能（2ピット）。1ピットは、視覚障がい者用とし、踏切エリアをテープで用意する。

三段跳の練習可能。

走高跳の練習可能。

立位投てき : 補助競技場での練習不可。

円盤投はサークルを使用しての動作練習のみ可能。

競技開始前、最低2度の練習投てきを保証する。

座位投てきは規則に定められた時間内での練習投てきが保証される。

○4月30日(日)7:30~から競技終了60分後まで補助競技場での練習が可能である。

トラック種目 : 内側1~3レーンは車いす、外側4~6レーンは立位用とする。

トラック内芝生の利用は可能。(スパイク使用は不可)

跳躍種目 : 走幅跳の練習可能。(1ピット)

立位投てき : 補助競技場での練習不可。

競技開始前、最低2度の練習投てきを保証する。

座位投てきは規則に定められた時間内での練習投てきが保証される。

○競技場の使用については、競技役員の指示に従うこと。

6. 各種書類について

① 「欠場届」「プログラム訂正用紙」「リクエスト・フォーム(ルールにないアシスタントの入場など)」「上訴申立書」「ガイドランナー変更用紙」の配布および提出は「TIC」にて行う。

「TIC」は競技場Cゲート前に設ける。

② 「重複出場届」「補助申請書(スターティング・ブロック設置申請、マーカー設置申請等)」「競技者ガイドランナースタート位置申告書」「ガイドランナー交代ポイント申請」の配布および提出は「第一招集所」にて行う。

7. 招集

① 第一招集所は、補助競技場横に設け、最終招集所は100mスタート後方の用器具庫内に設ける。

② 下記の招集開始時刻に第一招集所に集合すること。

種目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始時刻の30分前	15分前
ユニバーサルリレー	競技開始時刻の40分前	20分前
フィールド競技	競技開始時刻の40分前	30分前
フィールド競技(座位)	競技開始時刻の30分前	15分前

③ 第一招集所ではアスリートビブス(胸・背)、腰ナンバー標識、スパイク、衣類・バックなどの商標、車いす・投てき台のチェックを受けること。また、競技規則7条3(b)により、携帯電話等の機器は競技場内に持ち込むことはできない。

欠場する場合は、招集開始時刻までに欠場届を「TIC」に提出すること。欠場届が提出されずに招集時刻に遅れた場合は、当該種目を欠場したものとする。

④ 競技種目が重なり、一方の種目の招集時刻に間に合わない場合は、第一招集所に重複出場届を提出し、直接競技場所に集合すること。その際、当該種目の審判にその旨を伝え、審判の指示に従うこと。

⑤ リレー・オーダー用紙は、招集開始時刻の1時間前までに第一招集所に提出すること。

⑥ 持ち込み禁止物は第一招集所で預かり、TICで返却する。

8. アスリートビブスについて(ナンバーカード)

① アスリートビブスは、1名につき2枚配布する(胸・背用)(競技規則6条7・8)。

胸:ローマ字、背:ナンバー

② アスリートビブスは、交付された大きさのまま付けること。ただし、跳躍競技は胸・背いずれかに付

けるだけでもよい。1枚だけ着用の場合はローマ字表記のものを付けること。

- ③ 車いす競技者は背用のものを車いすまたは投てき台の後部につける（レーザー使用の選手においては、胸への着用は必要なく、ローマ字表記のものを後部に付けること）。
- ④ トラック種目では、招集所で配布された腰ナンバー標識を左右両側の腰に確実に付けること。ガイドランナーも同様。車いす競技者はヘルメットの左右両側に付けること。

9. 競技場への入退場

- ① 競技場への入場はADカード装着者のみとする。
- ② 第一招集所から競技場への入場、および競技終了後の退場は競技役員の指示による。
- ③ 競技終了後の退場はフィールド種目も含め、全員ミックスゾーン（フィニッシュ脇ゲート外側）を通過し、PECR（ポストイベントコントロールルーム）でADカード・荷物を受け取ること。

10. 競技について

- ① 招集完了後は練習を含め、すべて競技役員の指示に従うこと。
- ② T61とT62では、第一招集時にMASH（最大許可身長）の計測確認をおこなう。
- ③ トラック競技
 - i.参加人数が減った場合、スケジュールに予定されている予選を行わない場合がある。
 - ii.タイムにより次のラウンドに進む競技者の決定について、同記録の競技者があった場合、写真判定主任は0.001秒単位の時間を判定して決定する。それでも決まらない場合は、当該の競技者または代理人による抽選とする。（競技規則22条）。
 - iii.短距離種目では、衝突事故を防止するためフィニッシュ後も自身のレーンを走ること。
 - iv.プログラム進行上支障をきたす場合は、競技を中止させることがある。
 - v.スターティングブロックを使用する種目でガイドランナーを伴う競技者は「競技者・ガイドランナースタート位置申告書」を招集時に、招集所に提出すること。
- ④ スタート
 - i.スタートの合図はすべて英語（「on your mark」「set」）で行う。
 - ii.トラック競技はすべて写真判定システムを使用する。
 - iii.スタート・インフォメーション・システムを使用する。
- ⑤ アイマスク、アイパッチ

T/F11の競技者は、完全に光を遮断し隙間なく顔に密着する不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、およびその下に「アイパッチ」を着用して競技しなければならない。眼鏡使用時の隙間は認められない。検査は第一招集時で行うが、スタート地点、並びにフィールド競技場所で再検査を行う事がある。
- ⑥ ガイドランナー、およびアシスタント
 - i.ガイドランナーおよびアシスタントは、ビブスを着用すること。ビブスは招集時にチェックされ、許可されたもののみ着用可能とする。第一招集所で配布する。
 - ii.T11、T12の競技者とガイドランナーは、ガイドランナー交代時を除き、常にテザー（ガイドロープ）でつながっていなくてはならない。違反した場合は失格となる。
 - iii.T11、T12のガイドランナーが競技者の推進を助ける助力を加えた場合、またフィニッシュ時に競技者より前方に位置または同着した場合は、ガイドランナーによる違反として競技者は失格となる。

- iv. T11、T12 の跳躍競技および F11、F12 の投てき競技においてはアシスタントを同行させることができる。T11 の跳躍は 2 名以内、それ以外は 1 名とする。アシスタントは、ルール上支障がない限り競技者を誘導することができる。
- v. T12、T20、T35-38、T42-47、T61-64 のトラック競技においては、招集時にスターティング・ブロックの位置を示す指定の「補助申請書」を招集所に提出することにより、競技者に代わり競技役員がスターティング・ブロックを設置することができる。
- vi. T/F20、T/F35-38、T/F42-47、T/F61-64 の走幅跳、三段跳およびやり投においては、招集時に助走路に置くマーカの位置を示す指定の「補助申請書」を「招集所」に提出することにより、競技者に代わり競技役員がマーカを設置することができる。
- vii. F31-33 および F51-54 の投てき競技においては、アシスタントを同行させることができる。座位投てき競技のアシスタントは競技者の投てき台設置及び投てき台への移動の補助はできるが、試技中は競技エリアから離れなければならない。また、競技役員は、投てき台への移動補助はできない。

⑦ フィールド競技

- i. 走高跳において、練習の高さ、競技開始の高さおよび競技開始後の上げ方については、競技役員と競技者が競技のうえ決定する。
- ii. T11、T12 の走幅跳においては、1 m×助走路幅に白色で記した区域を踏切エリアとする。その位置は、走幅跳の場合は着地区域から 1 m の位置に最先端を設置するが、状況により踏切位置を調整することがある。
- iii. 立位のフィールド競技において、後半 3 回の試技順は前半 3 回までの試技で記録した成績の低い順とする。複数クラスで同時進行する場合は、クラス毎に試技順の変更を行う。
- iv. 投てき台の固定後、競技者の投てき台への移動、固定、およびその後の練習のための時間は F32-34 および F54-57 は 4 分以内、F31 および F51-53 は 5 分以内とする。
- v. 座位投てき種目における服装（下衣）は、身体に密着していなければならない（スパッツ等）。
- vi. 座位投てき競技は 6 連投とする（それぞれの投てき時間は 1 分、3 投後 1 分休憩をとることができる）。
- vii. Raza ポイントシステムは使用しない。

⑧ 車いす競技

- i. 車いすおよび座位投てき用の投てき台の検査は第一招集所で行うが、競走競技ではスタート地点で、投てき競技では競技場所で再検査を行う事がある。
- ii. 車いすの競走競技に出場する競技者は、必ずヘルメットを着用すること。

- ⑨ 競技規則 8 条 2 および 17 条 5 による警告を 2 回受けた競技者は失格とし、本競技会における以後のすべての種目に出場できなくなる。

11. 競技用器具

- ① 競技に使用する器具は、全て主催者が用意したものを使用しなければならない。ただし、不透明な眼鏡、アイマスクまたは適切な代用品、アイパッチ、テザーは各自が用意すること。主催者による貸し出し、貸与は一切おこなわない。持参忘れ、破壊や規則に合致せず使用できない場合は、WPA ルールにより DNS（欠場）として扱う。
- ② 投てき用具については、原則として競技場備え付けの用具を使用する。ただし、競技場備え付け投てき用具リストにないもの、個数が 1 個のものは、1 人上限 2 個まで、WA 認証品で技術総務の検査に

合格したものに限り持ち込みを認める。ただし、当該用具は主催者で借り上げ、参加競技者全員が使用できるものとする。WA 認証品に該当せず、パラ陸上独自の投てき器具を持ち込む場合も、上記同様に検査を受け、合格した用具は、参加競技者全員が使用できるものとする。

- ③ 投てき用具の持ち込みを希望する競技者は、当該種目の招集開始 90 分前までに「TIC」に「個人持ち込み投てき用具検査申請書」とともに投てき用具を提出すること。受け付けた投てき用具については「預り証」を発行する。競技終了後、「預り証」と引き換えに「TIC」で返却する。
- ④ 投てき競技に参加する競技者でタンマグなどの滑り止めは競技場備え付けのものを用意する。また、アシスタントを伴う場合は、競技者を投てき台に移動できる者とする。移動の対応ができないアシスタントであっても、競技役員、補助員その他の者は手伝うことができないので、注意すること。

12. クラス分け

- ① 本競技会では肢体不自由（PI）の国内クラス分けを実施する。
- ② 下記の該当競技者は、国内クラス分けを受けなければならない。
 - i. WPA 国際クラス分けおよび JPA 国内クラス分けを過去受けた事のない競技者
 - ii. クラス分けステイタス Review の選手で、本連盟クラス分け運営委員から事前に指示された競技者
- ③ 実施日は 4 月 28 日（金）とする。
- ④ 国内クラス分けの実施方法ならびに準備物等については、JPA ホームページのクラス分け運営委員会のページ内に掲載している「国内クラス分け実施方法の変更（2018 年 5 月 24 日掲載）」を確認すること。
- ⑤ 「JPA クラス分け診断書」は、JPA ホームページ内のクラス分け運営委員会のページからダウンロード可能 (<https://jaafd.org/>)。「クラス分け自己申告書」については、該当競技者に別途送付する。
- ⑥ 本競技会における国内クラス分け実施時間については、申し込み締め切り後に該当競技者に別途通知する。
- ⑦ 国内クラス分け結果については、TIC に掲示するとともに、競技会終了後に本連盟ホームページにて公開する。
- ⑧ IPC 登録並びに国際クラス分けが終了している競技者は、そのクラスで行った競技の記録が World Para Athletics 公認記録となる。
- ⑨ クラス分けに関する質問などは、下記までメールにて問い合わせること。

JPA クラス分け運営委員会 mail : jpa.classification@gmail.com

13. ドーピング・コントロール・テスト

- ① 本競技会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会である。
- ② 本競技会参加者（18 歳未満の競技者含む。以下同じ）は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなす。18 歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなす。
- ③ 本競技会に参加する 18 歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯すること。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>) からダウンロードできる。18 歳未満の競技者は、ドーピングの対象となった際には、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出すること。なお、親権者の同意書の提出は 18 歳未満時に 1 回のみで当該同意書の提出後に再びドーピング

検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出ること。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査終了後7日以内にJADA事務局へ郵送で提出すること。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとする。

- ④ 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性がある。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意すること。
- ⑤ 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意すること。
- ⑥ 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト（<https://www.playtruejapan.org>）にて確認すること。

14. 抗議と上訴

競技中の判定について、競技者自身が審判長に対し、競技場所で直ちに抗議できる。競技後の抗議は、記録の公式発表から30分（大型スクリーン表示時刻を基準とする）以内に競技者自身または代理人がTICに口頭で申し出る。抗議は審判長が判定し、TICを通じて裁定を伝える。この裁定に不服がある場合は、「上訴申立書」に記入のうえ、預託金（2万円）を添え、TICを通じてジュリー（上訴審判）に申し立てを行うこと。

15. 表彰

- ① 表彰対象種目の最上位選手又はチームには選手権章が、2位と3位の選手又はチームには記録証が授与される。
- ② リレーについては、4選手(+ガイドランナー)が表彰式で選手権章又は記録証を授与される。
- ③ 表彰式は、メダルプラザ(選手受付南隣)にて行われる。
- ④ 表彰式スケジュールは、大会HPにて公開する。
- ⑤ 表彰対象の選手又はチームに対して、ポストイベントコントロールにて、メダルプラザへの集合時間を記した紙を渡す。
- ⑥ 選手、ガイドランナーの表彰式での服装は任意とし、表彰者控えテント(メダルプラザ内)で受け取った表彰用ビブスを着用するものとする。
- ⑦ 私物を式に持ち込むことは認められない。
- ⑧ 選手自身の責任において、通知された時間までにメダルプラザに到着していること。開始時間にいなかった場合は、その選手不在のまま式は行われる。その場合、選手権章又は記録証はTICで受け取ること。
- ⑨ 選手は、メダルプラザにチームスタッフ1名まで同伴することが認められる。

16. 一般注意事項

- ① 競技結果および番組編成リストは競技結果速報サイトで確認のこと。QRコードは下記の通り。

■パソコン・スマートフォン版



■携帯版



- ② プログラムに誤記がある場合は、すみやかに TIC に申し出ること（用紙は TIC に置く）。
- ③ 各種目の世界記録およびアジア記録については、令和 5 年 4 月 3 日時点で World para Athletics ウェブサイトに掲載されている記録を引用したものである。
- ④ 撮影について：悪質な写真・ビデオの盗撮から競技者を守るため、本大会中撮影が許可されるのは下記のものに限る。
- 1) 競技会運営本部より許可され、腕章またはビブスを付けたカメラマン
 - 2) 競技会出場学校、クラブ等の関係者や当該競技者の保護者、家族等
 - 3) 競技会事務局
- また、撮影禁止区域が設定されている場合は、その区域からの撮影はできない。
なお、場合によっては上記に該当するか確認することがある。
- ⑤ 競技期間中撮影した画像・映像は、各メディアおよび協賛社の広報、またはその他パラ陸上競技普及に関する広報に使用することがある。本競技会は YouTube でライブ中継される。
- ⑥ 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。競技会では応急処置のみとする。参加にあたっては自己の責任において健康と安全に留意すること。競技者には、主催者がスポーツ安全保険に加入しているため、この保険が適用される場合がある。
- ⑦ 救急車などの緊急車両を手配する事態が起きた場合は、一刻を争う事態でない限り競技運営本部および競技場側を通じて行うものとする。
- ⑧ 休憩所・更衣室など
- 1) 休憩場所は、補助競技場内のチームテントのみ利用可能。競技場の 1 階、及び 2 階コンコースについては待機場所として利用できない。コンコースで場所取りをされている方は移動をお願いし、一定時間を経過したものについては撤去を行う。
 - 2) 更衣室は、補助競技場内の更衣テントを利用すること。競技場内の更衣室は使用できない。
 - 3) 休憩所や更衣室等、会場内のゴミは各自持ち帰ること。
- ⑨ トイレは、補助競技場内のトイレかメイン・バックスタンドのコンコーストイレを利用すること。
練習日を除き、競技場 1 階のトイレは利用できない

【競技場備え付け投てき用具リスト】

砲丸（7.26kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	F251	125.5	3	I-99-0087
2	鉄製	NISHI	F251A	120	11	I-16-0794
3	鉄製	NISHI	F251C	129	3	I-99-0083

砲丸（6.0kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	F291A	120	2	
2	鉄製	NISHI	F291	117	10	I-03-0292

砲丸（5.0kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	F292B	110	11	I-06-0357
2	真鍮	NISHI			1	

砲丸（4.0kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	F253C	109	6	I-99-0084
2	鉄製	NISHI	F253	103	4	I-99-0089
3	鉄製	NISHI	F253A	99	5	

砲丸（3.0kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	NF293A	109	2	I-12-0571

砲丸（2.721kg）

No.	名称	メーカー	品番	サイズ（Φ）	数量	WA認証
1	鉄製	NISHI	F254	90.5		16

円盤（2.0kg）

No.	名称	メーカー	品番	色	数量	WA認証
1	スーパー	NISHI	F301	黒	14	
2	スーパーハイモメント	NISHI	F331A	白・紫	3	I-02-0255
3	スーパーハイモメント（旧）	NISHI	F331	薄紫	2	
4	ペーサー サターン	GILL			1	
5	ペーサー サターンⅡ	GILL	C713		1	
6	ペーサー ホローウッドスター	GILL	C715		1	
7	レッド	OBOL	C733	赤	1	
8	ベリハイモメント	OTE	C751		1	

円盤（1.5kg）

No.	名称	メーカー	品番	色	数量	WA認証
1	スーパー	NISHI	F302B	白・黒・赤	9	I-06-0358
2	スーパーハイモメント（旧）	NISHI	F332A*	紫・黄	3	I-06-0359
3	スーパーハイモメント	NISHI	F332A	白・紫・黒	1	
4	スタンダードロースピン	NISHI	F342A	水色	3	
5	スーパー（旧）	NISHI	F302B*	橙・白	1	

円盤 (1.0 kg)

No.	名称	メーカー	品番	色	数量	WA認証
1	スーパー	NISHI	F303B	白・赤・黒	6	I-99-0086
2	ハイモメント	NISHI	F333A	白・紫・黒	3	I-02-0256
3	ローモメント	NISHI	F343	水色	2	
4	スーパー	NISHI	F303	黒	7	
5	ベリーハイモメント	OTE	C752	ピンク	1	
6	ユルゲンシュルツ	DENFI	C742	白	1	
7	ペーサーサターンII	GILL	C714	白	1	
8	レッド	OBOL	C734	赤	1	
9	ペーサー ホローウッドスター	GILL	C716		1	

男子やり (800 g)

No.	名称	メーカー	品番	色	数量	WA認証
1	スーパーDR (80m)	NISHI	F453E	黄	3	I-01-0236
2	ロングDR (70m)	NISHI	F454E	青	5	
3	ミディアム (60m)	NISHI	F455E	赤	3	
4	スーパー	NISHI	F453	黄・白	4	
5	スーパーDR (80~90M)	NISHI	F453B	黄	3	
6	ミディアム (50~60M)	NISHI	F455	肌色	3	

女子やり (600 g)

No.	名称	メーカー	品番	色	数量	WA認証
1	スーパーDR (70m)	NISHI	F463F	黄	1	I-01-0235
2	ロングDR (60m)	NISHI	F464F	青	1	
3	ミディアムDR (50m)	NISHI	F465F	赤	1	
4	スーパーDR (55~65M)	NISHI	F463C	黄・白	6	
5	ロングDR (45~55M)	NISHI	F464C	青・白	4	
6	ロング (60m)	NISHI	F464D	水色・白	1	
7	ミディアムDR (30~45M)	NISHI	F465C	ピンク・白	5	

こん棒 (397 g)

No.	名称	メーカー	品番	色	数量
1	こん棒	NISHI		木製	2
2	こん棒	チャンピオン		木製	2
3	こん棒-東京パリンピックモデル	都科技高		木製	2